

ごほんでんさほう  
御本典作法

■ 楽曲データ

歌詞：『顕浄土真実教行証文類』より

楽曲：森 正隆 作曲

制定：浄土真宗本願寺派 1973年

初演：親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要

初出：—

管理番号：M1061

■ 創作の経緯

親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要に向けて、仏教音楽研究委員会（旧・仏教音楽研究所の前身）において検討が重ねられ、1973年制定。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第1巻収録

底資料：『御本典作法』仏教音楽研究委員会 1973年

校訂の詳細：特記事項なし

■ 解説

『御本典作法』は、1973（昭和48）年に制定され、同年に修行となった親鸞聖人御誕生800年・立教開宗750年慶讃法要において初めて依用されました。ご文は、宗祖がご撰述になった『顕浄土真実教行証文類』（御本典）に依っており、まさに宗祖による立教開宗のおこころを受け、ご遺徳を仰ぐにふさわしい作法となっています。2015（平成）年に、回向文が加えられました。

音楽的には、従来の声明で用いられてきた伝統的な音律を念頭におきつつ、重唱となる部分が設けられているなど、西洋音楽的な要素も付されています。

◆ 構成

本法要は、『教行信証』のご文による〈宿縁〉〈慶喜〉〈悲嘆〉〈敬信〉〈回向文〉と、4つの〈念仏〉という楽曲からなります。

無伴奏の部分が多いほか、結衆や讃嘆衆がふたつのグループに分かれての合唱や掛け合いもあり、多彩な表現が試みられています。習礼では、音の取り方や歌いだしのタイミングなど、細部まで十分に確認して、法要に臨んでください。

◆楽譜・音源について

『仏教讃歌一歌集』には、新作された回向文までのすべての楽曲の旋律譜が、『聖歌・讃歌集』第1巻にはスコア（ただし、回向文はなし）が掲載されています。

音源は、CD『御本典作法』（本願寺出版社刊）をご参照ください。

浄土真宗本願寺派公式YouTubeチャンネルでは、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要協賛行事にて勤められた法要の映像を公開しています。下記URL・QRコードからご覧ください。

<https://youtu.be/XkBdA3wv2PE?si=xqc9pBk7cRXqdFac>



Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.